

題材 「働くとは？改めて考えよう。」 ○○時間中の第○時

(1) 学習のねらい

勤労体験に向けて「働く」ということについて考え、実際に勤労体験を経験してきた子どもたちが、「父の仕事」の文章や、先生の仕事での話に触れ、「働く」ことは楽しかったり、好きなことをしたりするだけじゃないのだと気づき、「父の仕事」の文章で考えたり、小川の働くことへの考え方を聞く活動を通して、「働く」という行為について改めてどういうことなのか考えることができる。

(2) 本時の学習材

小川の仕事についての話

○子どもたちは「父の仕事」の文章を読み、「働く」ということに対して様々な印象や意見を持つだろう。それらをクラスで共有したところで、本学習材を提示する。

○本学習材は、小川がホテルマンとして働いていること、業務内容や、目的、やりがいや大変だと感じる話のことである。子どもたちは、「父の仕事」の文章で考えたことや、小川の仕事についての話しによりお客さんやホテルにどんな迷惑が掛かってしまったか考えるだろう。そこで、子どもたちは、勤労体験で実際に働いたこと、「父の仕事」を読んだことや小川の仕事の話から、改めて働くとはどういうことなのか考えることが期待できる。

(3) 学習の展開

過程	学習活動	予想される子どもの動き	時間	指導と評価
課題把握	1 勤労体験で実際に働いてどんなことを思ったか。	・意外と楽しかった。 ・世の中にはこんな仕事があるのかと思った。 ・思っていたより大変だった。 ・毎日こんな仕事をしている人はすごいと思う。	5'	・勤労体験で思ったことを聞き、どんなことを体験先でして、それをどのように感じたのか思い出させる。
展開	2 「父の仕事」の文章を読み、「どうしてお父さんは振り返らなかったのか班で考え、発表する」。	学習問題 「働く」ということについて理解を深めよう。 ・お客さんの命を預かっているから、電車の運転に集中した。 ・お客さんの安心を考えて、迷惑にならないようにした。 ・お客さんが信頼して乗ってくれているので、それに責任感を持っていた。	20'	・班ごとに意見を考え、共有する。 ○子どもたちの意見を整理したところで、本学習材を提示する。
	学習課題 勤労体験で働いた仕事は、お客さんや世の中にどうつながっているのか。			学習材 小川の仕事についての話
	3 小川の話から、働くということを改めて考える。	・もう1度お客様にフロントへ氷をお願いさせる結果となった。 ・氷を長い間お待たせした。 ○お客さんに長い間待つという迷惑をかけた。	10'	
終末	4 勤労体験、「父の仕事」、小川	・きれいなおしぼりかどうか、確認してから硬く巻いて保存すること。	10'	

	の話から改めて、働くとはどういうことなのか考える。	・車をきれいに洗車して、お客様のところへ送り出す。	評価 勤労体験や、「父の仕事」の文章、小川の働くことへの考え方を聞く活動を通して、「働く」ということについて改めてどういうことなのか考えることができる
--	----------------------------------	----------------------------------	---